

kuraray

Noritake

管理医療機器
歯冠用硬質レジン

セシード[®]N 取扱説明書

クラレノリタケデンタル株式会社

目次

| | | |
|----------|--|----|
| 1 | 使用上の注意 | 2 |
| | ●禁忌・禁止 | 2 |
| | ●使用注意 | 2 |
| | ●重要な基本的注意 | 2 |
| | ●使用方法に関連する使用上の注意 | 3 |
| | ●貯蔵・保管方法及び使用期間等 | 4 |
| 2 | 使用目的、効能又は効果 | 5 |
| 3 | 商品構成 | 5 |
| 4 | フローチャート | 6 |
| 5 | 色調構成 | 7 |
| 6 | 色調表現方法 | 9 |
| 7 | 光重合器と照射時間 | 11 |
| 8 | 使用方法 | 12 |
| | ●使用方法1：前装冠の製作 | 12 |
| | ■マルチカラーシステム | 12 |
| | ■ワンボディシステム | 17 |
| | ●使用方法2：ジャケット冠の製作 | 22 |
| | ●使用方法3：人工歯冠の補修 (歯科用陶材、無機物フィラーを含むレジン系材料) | 24 |
| 9 | 包装 | 26 |

ご使用前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

1 使用上の注意

禁忌・禁止

本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

使用注意

1. 本品は、【2 使用目的、効能又は効果】の項に記載の用途以外に使用しないこと。
2. 本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
3. 本品を誤飲させないように注意すること。
4. カラーコートを使用する際は、適切な換気がなされている場所で使用すること。
5. 口腔内で使用した場合、感染防止のため、採取した本品及び小筆等の塗布器具の患者間での交差使用は避けること。

重要な基本的注意

1. 本品の使用により発疹、温疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。
2. 本品との接触による過敏症状の予防のため、使用者は手袋等を用いて直接本品に触れないようにすること。特に未硬化物との接触は避けること。本品の使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し、専門医の診断を受けること。
3. 本品が口腔内軟組織や皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。飛散液から患者を保護するため、眼部をタオル等で覆うこと。
4. 本品が口腔内軟組織や皮膚に付着した場合は、アルコールを含んだ綿球やガーゼでふき取り、ただちに大量の水で洗浄すること。また、目に入った場合は、ただちに多量の水で洗浄し眼科医の診断を受けさせること。
5. カラーコートの未重合物を口腔軟組織に付着したまま放置するとカラーコートに含まれる多官能アクリレートにより“かゆみ”或いは“痛み”などの症状或いは“水疱”が生じる恐れがあるので、カラーコートは確実に光照射すること。未重合物が表面に残っている場合は乾いたワッテ又はガーゼ等で拭きとること。
6. 本品の形態修整、仕上げ及び研磨を行う際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所集塵装置、防護用シールド或いは公的機関が認定した防塵マスク等を使用し、粉塵との接触を避けること。

使用方法に関連する使用上の注意

本品に関する使用上の注意

1. ボディレジン同士或いはボディレジンと他の材料を混ぜて使用しないこと。
2. ボディレジン及びオペークレジン、使用後にシリンジ先端部に付着したペーストを綿球等でふき取ってから速やかにキャップを装着すること。
3. オペークプライマー、カラーコート及びカラーコートプライマーは揮発成分を含むことから、塗布直前に混和皿等に採取し速やかに使用すること。使用後は速やかにキャップを装着すること。
4. カラーコートは採取後3分以内に使用すること。
5. ボディレジン及びカラーコートは、窓際又は技工・診療用ライト直下等の明るい場所で使用すると硬化することがあるので、窓際の自然光は避け、ライトの光量を下げるなどの回避処置を行うこと。
6. オペークを重ねて塗布する場合は、重合したプレオペーク、オペーク又はベースマテリアルの上に必ずオペークプライマーを塗布し、乾燥させてからオペークを塗布すること。
7. オペークプライマーとオペークを塗布する筆は、同じ筆を用いるとオペークが硬化し筆が使えなくなるため、使い分けること。使用後は、速やかにエチルアルコール又は即時重合レジンのモノマー液で洗浄すること。
8. カラーコートの「クリアー1」には、歯科重合用光照射器は使用できません。歯科技工用重合装置を使用すること。
9. カラーコートは、分離する場合があるため使用前にボトルをよく振ってから採取すること。
10. カラーコートを塗布する筆は専用とし、他の用途の筆と共用しないこと。
また、カラーコートに埃等の異物が混入することを避けるため、使用した筆はエチルアルコール又は即時重合レジンのモノマー液で十分に洗浄すること。
11. カラーコートを塗布する筆は、毛先が開いている筆や荒れた筆を用いると気泡混入の原因になるため、毛先が整った筆を使用すること。また、塗布はできるだけ挨の少ない場所で行うこと。
12. カラーコートのレジン表面からの剥離を防ぐため、レジン表面をダイヤモンドポイント、ペーパーコーン或いは粗めのシリコンポイント等で粗造化すること。
13. 形態修整後の追加修整やカラーコートを塗布する場合には、レジン切削粉や油などの付着がないようあらかじめ清掃しておくこと。

14. カラーコートの色調及び表面滑沢性は永久的に持続しないため、必要により再処理を行うこと。また、その旨を患者に説明すること。
15. ジャケット冠を脱型できないことや石膏模型が破折することを避けるため、専用のレジン分離材を使用すること。
16. マージンラインからはみ出してペーストを築盛すると脱型できなかつたり、石膏模型が破折することがあります。築盛の際にはペーストがオーバーマージンにならないように気をつけること。オーバーしているところがあれば、脱型前にあらかじめ削り落としておくこと。

光重合器に関する使用上の注意

1. 歯科重合用光照射器を使用する場合、照射光は直視を避けて保護眼鏡等の防護処置を施すこと。
2. 使用する光重合器の添付文書にしたがうこと。
3. 光重合器の光量の低下は、硬化不良の原因となるため、ランプの寿命及び照射口の汚れを確認するとともに、光量計で定期的に光量のチェックを行うこと。
4. 歯科重合用光照射器を使用する場合、硬化させる面積が光照射器の口径より大きい場合には、分割照射を行うこと。

貯蔵・保管方法及び使用期間等

貯蔵・保管方法

- 本品は2～25℃で、直射日光を避けて保管すること。
- オペークプライマー、カラーコート及びカラーコートプライマーは可燃性です。火気の近くでの使用、保管は避けること。

使用期限

- 製造日から48ヶ月。
- 本品に記載の※使用期限までに使用すること。
- ※(例 Exp.  2017-10 は使用期限2017年10月を示す。)

2 使用目的、効能又は効果

前装冠、ジャケット冠及びブリッジによる歯冠修復又は暫間被覆冠等の製作若しくは口腔内外での人工歯冠の補修に用いる。

使用用途

- 1) 前装冠の製作
- 2) ジャケット冠の製作
- 3) 人工歯冠(歯科用陶材、無機物フィラーを含むレジン系材料)の補修

3 商品構成

ボディレジン

多官能メタクリレートモノマーをベースに表面処理有機複合フィラー、表面処理バリウムガラス、表面処理シリカフィラーを高密度に配合したハイブリッドタイプの光重合型コンポジットレジンです。

オペークレジン

多官能メタクリレートモノマーをベースにした金属色遮蔽用の光重合型コンポジットレジンです。プレオペークは、硬化深度及び流動性が高いペーストで前装冠製作時に第一層目のオペークとして用いることにより操作効率が高まります。

カラーコート

多官能アクリレートと表面処理シリカ系マイクロフィラーを配合した光重合型コンポジットレジンで、レジン表面の滑沢性付与、色調調整及びキャラクタライズに用います。

リペアーリキッド

予備重合したボディレジンに塗布し、積層するボディレジンとのなじみを良くする場合や、重合したボディレジン成形後、追加修整・補修する場合に用います。

オペークプライマー

リン酸エステル系モノマー(MDP)を含有し、金属とオペークレジンとを接着するため及びオペークレジンの硬化を促進するために用います。

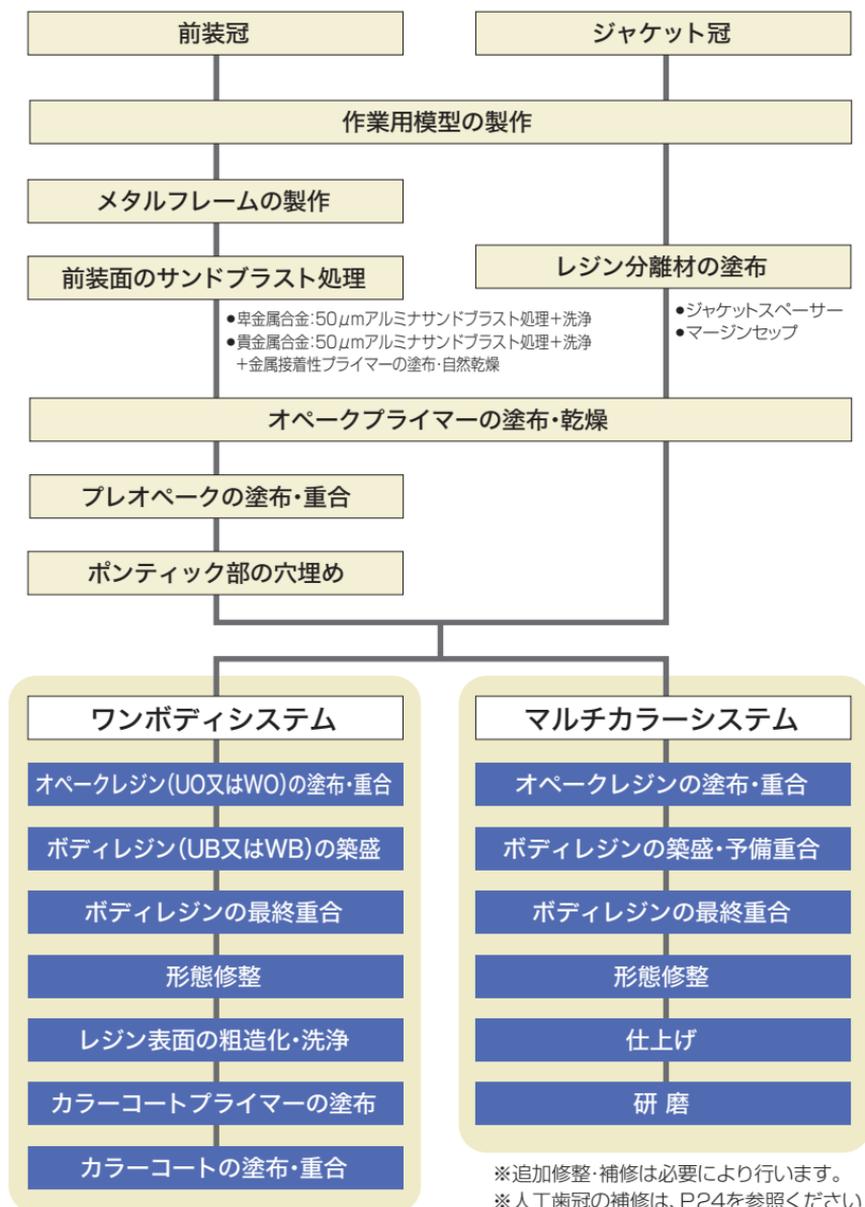
カラーコートプライマー

シランカップリング剤を含有するカラーコート用接着材で、ボディレジンとカラーコートを接着するために用います。

付属品

小筆(S)、小筆(SO)、混和皿(EPR)、混和皿(TM)

4 フローチャート



5 色調構成

1 マルチカラーシステム

● 色調構成

| 目標とする色調 | | A1 | A2 | A3 | A3.5 | A4 | B1 | B2 | B3 | B4 | C1 | C2 | C3 | C4 | D2 | D3 | D4 |
|----------|--------------|---------------------|------|------|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| オペークレジン | ブレオペーク | PO | | | | | | | | | | | | | | | |
| | オペーク | A10 | A20 | A30 | A3.50 | A40 | B10 | B20 | B30 | B40 | C10 | C20 | C30 | C40 | D20 | D30 | D40 |
| | オペークモディファイヤー | IO, P, W | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポディレジン | サービカル | — | CV1 | CV2 | — | CV3 | CV4 | — | CV5 | CV6 | CV7 | CV8 | | | | | |
| | オペーシャスポディ | OBA1 | OBA2 | OBA3 | OBA3.5 | OBA4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | ポディ | A1B | A2B | A3B | A3.5B | A4B | B1B | B2B | B3B | B4B | C1B | C2B | C3B | C4B | D2B | D3B | D4B |
| | エナメル | E2 | E3 | E4 | E1 | E2 | E3 | E4 | E1 | E2 | E3 | E4 | E2 | E3 | E4 | E2 | E3 |
| | トランスルーセント | T0, TN, TE1, TE2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エフェクト | TB, CW, CCV, CE, SB | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 歯肉色 | Tissue1, Tissue2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ベースマテリアル | BASE | | | | | | | | | | | | | | | | |

● トランスルーセントの使用方法

- T0 : 通常の透明感の表現に使用します。
- TN : 暗い透明感を表現するトランスルーセントです。
- TE1 : E2より透明性の高いエナメルです。
- TE2 : E3より透明性の高いエナメルです。

● エフェクトの使用方法

- TB : 青みがかったエナメル質の表現に使用します。
- CW : 白濁したエナメル質の表現に使用します。
- CCV : 鉛色のエナメル質や、透明感のある歯頸部領域の表現に使用します。
- CE : 明度の高いエナメル質の表現に使用します。
- SB : 切縁のオレンジ味を帯びたエナメル質や鉛色といわれるオレンジ味の強い歯肉に使用します。

● 歯肉色の使用方法

- Tissue 1 : 明度の高い歯肉色ペーストです。
- Tissue 2 : 明度の低い歯肉色ペーストです。

● ベースマテリアルの使用方法

- BASE : ポンティックの穴埋め用のペーストです。

2 ワンボディシステム

●色調構成

| 目標とする色調 | | A1 | A2 | A3 | A3.5 | A4 | B1 | B2 | B3 | B4 | C1 | C2 | C3 | C4 | |
|---------|-------|--|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| オペーク | UO+UB | | | | | | | | | | | | | | |
| ボディ | WO+WB | | | | | | | | | | | | | | |
| カラーコート | | A+ | | | | | B+ | | | | | C+ | | | |
| | | クリアー1 (クリアー2、ホワイト、サービカル1、サービカル2、インサイザルブルー2) | | | | | | | | | | | | | |

●カラーコート

A+ : A系色の色調表現に使用します。

B+ : B系色の色調表現に使用します。

C+ : C系色の色調表現に使用します。

クリアー1 : 無色透明な色調です。

クリアー2 : 無色透明な色調です。

(チェアサイドで使用する場合、クリアー1の代わりに本品を使用ください。)

ホワイト : 白帯や明度を上げる場合に使用します。

サービカル1 : 歯頸部の色調表現に使用します。

サービカル2 : 歯頸部の色調表現に使用します。

インサイザルブルー2 : 切縁部及び隣接部の透明感の表現に使用します。

●オペークレジン、ボディレジン

WO、WB : 明度の高い色調を表現する場合に使用します。

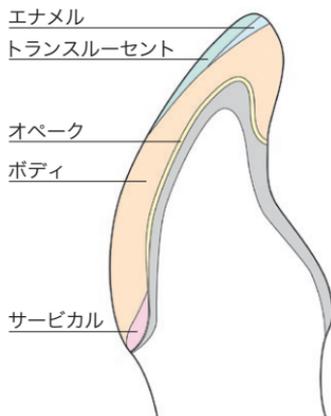
UO、UB : 通常の症例に使用します。

6 色調表現方法

本品は前装冠、ジャケット冠による歯冠修復に適応できますが、製作方法として2つの方法があります。

1 マルチカラーシステム

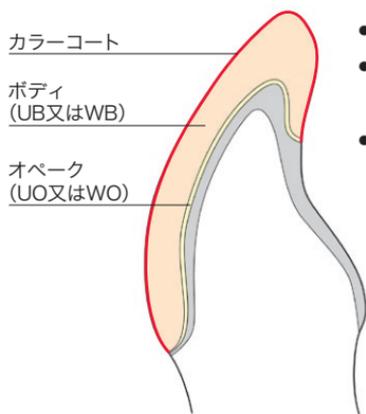
オペークレジン(UO、WO以外)とボディレジン(UB、WB以外)を積層・重合した後、形態修整を行い、研磨により仕上げる方法



- オペーク : 前装部の金属色を遮蔽します。
- サービカル : マージン部から歯頸部寄り1/4~1/5にかけて徐々に薄くなるように築盛します。
- ボディ : 歯頸部寄り1/2~1/3は、完成のカウントゥアーと同一にし、切端寄り1/2~1/3から切端にかけて徐々に薄くなるよう築盛します。
- エナメル : 切端寄り1/5~1/6に薄く築盛します。
- トランスルーセント : 切端寄り1/2~1/3の部分に薄く築盛します。

2 ワンボディシステム

オペークレジン(UO又はWO)を塗布し、ボディレジン(UB又はWB)を築盛・重合した後、形態修整を行い、研磨のかわりにカラーコートにより仕上げる方法



- オペーク(UO又はWO) : 前装部の金属色を遮蔽します。
- ボディ(UB又はWB) : 本品のみで最終的な歯冠形態を回復します。
- カラーコート
(A+, B+又はC+) : 指定のシェードに従い歯頸部寄り2/3に塗布します。
(クリアー1) : 切端から歯頸部にかけて薄く塗布します。

ワンボディシステムの色調表現のポイント(ビタA系色の場合)

カラーコート of A+により、ビタA2、A3又はA3.5の色調表現が可能です。
各シェードの色調表現は、目標とする色調を参考にA+の塗布厚みにより調整します。

1 A+の塗布

目標とする色調を参考に歯頸部寄り2/3からマージン部にかけて塗布します。

なお、数回に分けて薄く塗布・重合を繰り返すと色ムラなく塗布することができます。



2 クリアー1の塗布

切端から歯頸部にかけて薄く塗布します。

●A2の表現



A+の塗布



完成

●A3の表現



A+の塗布



完成

●A3.5の表現



A+の塗布



完成

7 光重合器と照射時間

本品の重合に使用する歯科技工用重合装置及び歯科重合用光照射器の照射時間は以下のとおりです。下記に示す光重合器以外は使用しないでください。

歯科技工用重合装置

(秒)

| 重合装置 | オペークレジン | | ボディレジン | | カラーコート |
|---|---------|-----|--------|------|--------|
| | PO | その他 | 予備重合 | 最終重合 | |
| アルファライトV ¹⁾ | 10 | 30 | 10 | 90 | 30 |
| アルファライトⅢ ¹⁾ アルファライトⅡN ¹⁾ アルファライトⅡ ¹⁾ | 30 | 90 | 20 | 180 | 90 |

歯科重合用光照射器

(秒)

| 光照射器 | オペークレジン | | ボディレジン | | カラーコート | |
|--------------------------|---------|-----|--------|------|----------------|------------------------------------|
| | PO | その他 | 予備重合 | 最終重合 | クリアー2、 ホワイト | その他 (クリアー1) [*] を除く |
| JETライト3000 ²⁾ | 10 | 20 | 10 | 20 | 10 | 60 |

* 歯科重合用光照射器で硬化する場合はカラーコートの「クリアー1」は使えません。

1) 製造販売元:株式会社モリタ東京製作所

2) 製造販売元:株式会社モリタ

一般医療機器 歯科技工用重合装置

「アルファライトV」 医療機器届出番号 11B2X00071000027

「アルファライトⅢ」 医療機器届出番号 11B2X00071000021

「アルファライトⅡN」 製造業許可番号 11BZ0106

「アルファライトⅡ」 製造業許可番号 11BZ0106

一般医療機器 歯科重合用光照射器

「JETライト3000」 医療用具許可番号 27BY0028

8 使用方法

使用方法 1 前装冠の製作

▶マルチカラーシステム

1) 作業用模型の製作

通法にしたがい作業模型を製作します。



2) メタルフレームの製作

① ワックスアップ

作業用模型にワックス分離材を塗布し、ワックスで歯冠形態を回復します。



② カットバック

前装する部分のカットバックを行います。本品は、強度、耐摩耗性、金属接着性に優れるため、切縁部、隣接部は金属で被覆せずレジジンで回復する形態にします。



③ リテンションビーズの付与

前装面に粘着剤を塗布して、リテンションビーズを振りかけ、ワックスパターンを完成します。

ワックスパターンの前装面には、粒径100～200 μ mの球状のリテンションビーズをご使用ください。



④ メタルフレームの完成

通法にしたがい鑄造を行った後、鑄造体の適合性のチェック、仕上げを行ってメタルフレームを完成します。



3) 前装面のサンドブラスト処理

約 $50\mu\text{m}$ のアルミナ粒子を用いてサンドブラスト処理を行います。続いて、2分間の超音波洗浄又はスチームクリーナーにて洗浄し乾燥させます。



4) 貴金属合金を使用する場合

金属接着性プライマーを小筆でメタルフレームの前装面に塗布し、自然乾燥させます。



5) オペークレジンの塗布・重合

① オペークプライマーの塗布・乾燥

小筆でメタルフレーム前装面に塗布した後、エアを軽く吹きつけるか、30秒間自然乾燥して揮発成分を蒸散させます。



② プレオペークの塗布・重合

平筆でメタルフレーム前装面のリテンションビーズを付与した部分に塗布し、「7.光重合器と照射時間」(P11)にしたがって重合します。



③ ポンティック部の穴埋め

ポンティック部にボディレジン(ベースマテリアル)を築盛し、前装スペースを揃えます。築盛後、「7.光重合器と照射時間」にしたがって重合します。



④ オペークの塗布・重合

オペークは、金属、重合したプレオペーク及びベースマテリアルの上に、オペークプライマーを塗布・乾燥させた後、塗布し、「7.光重合器と照射時間」にしたがって重合します。オペークプライマーとオペークの塗布・重合は、金属、プレオペーク及びベースマテリアルの色が隠れるまで同じ操作を繰り返してください。



※色調調整、キャラクタライズが必要な場合

オペークにオペークモディファイヤーを混合するか、重合したオペークにオペークプライマーを塗布後、オペークモディファイヤーを塗布するか又はカラーコートを単独で塗布し「7.光重合器と照射時間」にしたがって重合します。

6) ボディレジンの築盛・予備重合

① サービカルの築盛・予備重合

マージン部から歯冠長の歯頸部寄り1/4～1/5に向かって薄くなるように築盛し、「7.光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。



② ボディの築盛・予備重合

歯冠の基本的な色調を再現するように築盛し、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。



③ エナメルの築盛・予備重合

歯冠長の切端寄り1/5～1/6に薄く築盛し、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。



④ エフェクト、歯肉色の築盛・予備重合

必要に応じて、個性的な色調再現や歯肉色を再現する場合に築盛します。「7. 光重合器と照射時間」にしたがって、予備重合します。

⑤ トランスルーセントの築盛

歯冠長の切端寄り1/2に薄く築盛します。
※必要に応じて、積層するボディレジンとのなじみを良くするために、予備重合したボディレジンにリペアーリキッドを塗布します。

※色調調整、キャラクタライズが必要な場合
各層の予備重合後に、カラーコートを塗布し、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって重合します。また、形態の調整等を行った場合には、カラーコートプライマーを塗布し、乾燥させた後にカラーコートをご使用ください。



7) ボディレジンの最終重合

コンタクト部分にボディレジンを築盛した後、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって、最終重合を行います。



8) 形態修整

カーバイトバー、カーボランダムポイント等により、形態修整を行います。



9) 仕上げ、研磨

① 仕上げ

シリコンポイント等で、レジン表面についたカーボランダムの圧痕を落としながら形態を整え、同時にメタルとの移行部をスムーズに仕上げます。



② 研磨

ブラシ、布バフ等に研磨剤をつけ、研磨・艶出しを行います。研磨操作の代わりにカラーコートを使用することもできます。



▶ワンボディシステム

1) 作業用模型の製作

通法にしたがい作業模型を製作します。



2) メタルフレームの製作

前装冠の製作(マルチカラーシステム)の
2)メタルフレームの製作(P12)と同様に行
います。



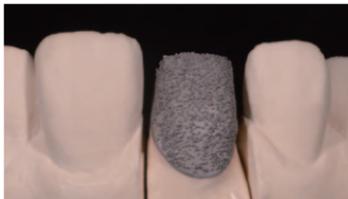
3) 前装面のサンドブラスト処理

約 $50\mu\text{m}$ のアルミナ粒子を用いてサンドブ
ラスト処理を行います。続いて、2分間の
超音波洗浄又はスチームクリーナーにて洗
浄し乾燥させます。



4) 貴金属合金を使用する場合

金属接着性プライマーを小筆でメタルフ
レームの前装面に塗布し、自然乾燥させま
す。



5) オペークレジンの塗布・重合

① オペークプライマーの塗布・乾燥

小筆でメタルフレーム前装面に塗布した後、エアーを軽く吹きつけるか、30秒間自然乾燥して揮発成分を蒸散させます。



② プレオペークの塗布・重合

平筆でメタルフレーム前装面のリテンションビーズを付与した部分に塗布し、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって重合します。



③ オペークの塗布・重合

オペーク(UO又はWO)は、金属及び重合したプレオペークの上に、オペークプライマーを塗布・乾燥させた後、塗布し、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって重合します。

オペークプライマーとオペークの塗布・重合

は、金属及びプレオペークの色が隠れるまで同じ操作を繰り返してください。

※色調調整、キャラクタライズが必要な場合

オペークにオペークモディファイヤーを混合するか、重合したオペークにオペークプライマーを塗布後、オペークモディファイヤーを塗布するか又はカラーコートを単独で塗布し「7. 光重合器と照射時間」にしたがって重合します。



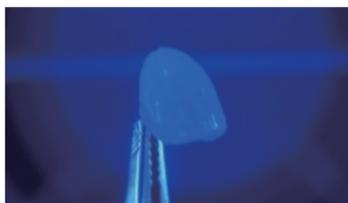
6) ボディレジン築盛・予備重合

ボディ(UB又はWB)を築盛し歯冠形態を回復します。



7) ボディレジンの最終重合

コンタクト部分にボディレジンを築盛した後、「7. 光重合器と照射時間」にしたがって、最終重合を行います。



8) 形態修整

カーバイトバー、カーボランダムポイント等により、形態修整を行います。



9) 仕上げ、研磨

① レジン表面の粗造化

ペーパーコーンや粗めのシリコンポイント等で表面を粗造化します。同時にメタルとの移行部をスムーズに仕上げます。



② 洗浄

スチームクリーナー又は超音波洗浄器等でレジン表面を洗浄し十分に乾燥させます。



③ カラーコート[®]の塗布

- カラーコートプライマーを塗布し乾燥させます。



- 次にカラーコートを混和皿に適量滴下し、筆等を用いてレジン表面に薄く塗布し「7.光重合器と照射時間」にしたがって重合します。
なお、シェードの表現はP10を参考にします。



完成

追加修整・補修

前装冠及びジャケットクラウンの製作の際に、形態修整後、追加修整、補修が必要になった場合には、追加したい部分を削って粗造な面にした後、リペアーリキッドを塗布しボディレジン[®]を築盛します。なお、ボディレジン[®]の追加築盛・重合、形態修整、仕上げ、研磨の操作は、前装冠の製作手順に従って行います。

1)追加修整・補修部分の新鮮面出し

カーボランダムポイント等で追加修整・補修部分を削り、新鮮面を出します。
切削粉はエアブローで除去します。



2)リペアーリキッドの塗布

新鮮面に小筆でリペアーリキッドを薄く塗布します。



3) ボディレジンの追加築盛・重合

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
 - 「6)ボディレジンの築盛・予備重合」(P14)
 - 「7)ボディレジンの最終重合」(P16)
- ワンボディシステムの場合
 - 「6)ボディレジンの築盛・予備重合」(P18)
 - 「7)ボディレジンの最終重合」(P19)



4) 形態修整、仕上げ、研磨

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
 - 「8)形態修整」「9)仕上げ、研磨」(P16)
- ワンボディシステムの場合
 - 「8)形態修整」「9)仕上げ、研磨」(P19)



使用方法 2 ジャケット冠の製作

1) 作業用模型の製作

歯型の分割、トリミングを行って作業用模型を完成します。トリミングの際にマージン下部にアンダーカットがあるとクラウン脱型時に石膏が破折する場合がありますので、削りすぎた場合にはワックスでブロックアウトをしておきます。



2) レジン分離材の塗布

① ジャケットスパーサーの塗布・乾燥

ジャケット冠の脱型を容易にするため、支台歯のマージン部を除く部分に塗布し、自然乾燥又はマイルドなエアブローで乾燥させます。



② マージンセップの塗布・乾燥

支台歯のマージン部に塗布し、自然乾燥又はマイルドなエアブローで乾燥させます。

3) オペークレジンの塗布・重合

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
「5) オペークレジンの塗布・重合」(P13)
- ワンボディシステムの場合
「5) オペークレジンの塗布・重合」(P18)



4) ボディレジンの築盛・重合

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
 - 「6)ボディレジンの築盛・予備重合」(P14)
 - 「7)ボディレジンの最終重合」(P16)
- ワンボディシステムの場合
 - 「6)ボディレジンの築盛・予備重合」(P18)
 - 「7)ボディレジンの最終重合」(P19)

5) ジャケット冠の脱型、適合の確認

支台模型からジャケット冠を脱型した後、支台歯又はジャケット冠内面に付着したジャケットスペーサーを除去し適合を確認します。



6) 形態修整、仕上げ、研磨

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
 - 「8)形態修整」「9)仕上げ、研磨」(P16)
- ワンボディシステムの場合
 - 「8)形態修整」「9)仕上げ、研磨」(P19)



使用方法3 人工歯冠(歯科用陶材、無機物フィラーを含むレジン系材料)の補修

歯科重合用光照射器を使用する場合には、重合する面積に応じて数回に分けて重合してください。なお、クリアー1は、歯科重合用光照射器は使用できません。(クリアー2を使用してください。)

1) 破断面の整形

ダイヤモンドポイント等で一層削除し、辺縁部にはベベルを付与します。金属が露出している場合には、その表面をフィッシャーバーなどで粗造しておきます。



2) 破断面のセラムックス処理

リン酸エッチング材を添付文書にしたがって塗布し、5秒後に水洗し、乾燥させます。金属面が露出している部分は、金属接着性プライマーを添付文書に従って塗布し自然乾燥させてください。

次に、レジン面にセラムックス処理材の添付文書にしたがって処理を行います。



3) オペークレジンの塗布・重合

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
「5) オペークレジンの塗布・重合」(P13)
- ワンボディシステムの場合
「5) オペークレジンの塗布・重合」(P18)



4) ボディレジンの築盛・重合

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
 - 「6)ボディレジンの築盛・予備重合」(P14)
 - 「7)ボディレジンの最終重合」(P16)
- ワンボディシステムの場合
 - 「6)ボディレジンの築盛・予備重合」(P18)
 - 「7)ボディレジンの最終重合」(P19)



5) 形態修整、仕上げ、研磨

下記の「前装冠の製作」と同様に行います。

- マルチカラーシステムの場合
 - 「8)形態修整」「9)仕上げ、研磨」(P16)
- ワンボディシステムの場合
 - 「8)形態修整」「9)仕上げ、研磨」(P19)



併用する材料について

本品と併用する材料は以下のとおりです。

- (1)リン酸エッチング材
歯科用エッチング材(例えば「K エッチャント GEL」)
- (2)金属接着性プライマー
歯科金属用接着材料(例えば「アロイ プライマー」)
- (3)セラミックス処理材
 - 1) 歯科セラミックス用接着材料(例えば「クリアフィル セラミック プライマー」)
 - 2) 歯科セラミックス用接着材料「クリアフィル ポーセレンボンドアクティベーター」と下記の材料のいずれか1つとの等量混和液
歯科用象牙質接着材
 - 「クリアフィル トライエスボンド ND クイック」、「クリアフィル ボンド SE ONE」、「クリアフィル メガボンド」のプライマー
 - 医薬品含有歯科用象牙質接着材
 - 「クリアフィル メガボンド FA」のプライマー
- (4)レジン分離材(「ジャケットスパーサー」、「マージンセップ」)

9 包装

(セット品包装)

●マルチカラシステム スタンダードセット

- ・オペークレジン(3.3 g/2.0 mL):PO,A10,A20,A30,A3.5O,A40,B20,B30,C30…各1本
- ・ボディレジン(4.6 g/2.6 mL):CV1,CV2,CV3,CV4,CV5,A1B,A2B,A3B,A3.5B,A4B,B2B,B3B,C3B,E2,E3,E4…各1本
(4.7 g/2.6 mL):T0…1本
- ・オペークプライマー(9 mL)…1本
- ・リペアーキット(6 mL)…1本
- ・付属品:小筆(S)…4本、小筆(SO)…2本、混和皿(EPR)…8枚

●マルチカラシステム スターターセット

- ・オペークレジン(3.3 g/2.0 mL):PO,A20,A30,A3.5O…各1本
- ・ボディレジン(4.6 g/2.6 mL):CV1,CV2,A2B,A3B,A3.5B,E2,E3…各1本
(4.7 g/2.6 mL):T0…1本
- ・オペークプライマー(9 mL)…1本
- ・リペアーキット(6 mL)…1本
- ・付属品:小筆(S)…4本、小筆(SO)…2本、混和皿(EPR)…8枚

●マルチカラシステム A 3セット

- ・オペークレジン(3.3 g/2.0 mL):PO,A30…各1本
- ・ボディレジン(4.6 g/2.6 mL):CV1,A3B,E3…各1本
(4.7 g/2.6 mL):T0…1本
- ・オペークプライマー(9 mL)…1本
- ・リペアーキット(6 mL)…1本
- ・付属品:小筆(S)…2本、小筆(SO)…1本、混和皿(EPR)…1枚

●ワンボディシステム スターターセット

- ・カラーコート(5.5 mL):A+,クリアー1…各1本
- ・オペークレジン(3.3 g/2.0 mL):UO…1本
- ・ボディレジン(4.6 g/2.6 mL):UB…1本
- ・オペークプライマー(9 mL)…1本
- ・カラーコートプライマー(4 mL)…1本
- ・付属品:小筆(S)…2本、小筆(SO)…1本、混和皿(TM)…8枚

●カラーコート セット

- ・カラーコート(5.5 mL):A+B+C+,クリアー1,ホワイト,サービカル1,サービカル2,インサイザルブルー2…各1本
- ・カラーコートプライマー(4 mL)…1本
- ・付属品:小筆(S)…2本、小筆(SO)…1本、混和皿(TM)…8枚

●オペークレジン3本パック(3.3 g/2.0 mL×3):UO

●ボディレジン5本パック(4.6 g/2.6 mL×5):UB

●ボディレジン3本パック(各4.6 g/2.6 mL×3):A2B,A3B,A3.5B,E2,E3, CV1

(4.7 g/2.6 mL×3):T0

(単品包装)

●オペークレジン(各3.3 g/2.0 mL):PO,A10,A20,A30,A3.5O,A40,B20,B30,C30,UO,W0

オペークレジン(各1.6 g/1.0 mL):B10,B40,C10,C20,C40,D20,D30,D40, IO,P,W

●ボディレジン(各4.6 g/2.6 mL):CV1,CV2,CV3,CV4,CV5,OBA1,OBA2,OBA3,OBA3.5,OBA4,A1B,A2B,A3B,A3.5B,A4B, B2B,B3B,C3B,E2,E3,E4,Tissue1,Tissue2,UB,WB

(各4.7 g/2.6 mL):T0,Tn,TE1,TE2,TB,CW,CCV,CE,SB, BASE

(各2.3 g/1.3 mL):CV6,CV7,CV8,B1B,B4B,C1B,C2B,C4B,D2B,D3B,D4B,E1

●カラーコート(各5.5 mL):A+B+C+,クリアー1,クリアー2,ホワイト,サービカル1,サービカル2,インサイザルブルー2

●オペークプライマー(9 mL) ●リペアーキット(6 mL) ●カラーコートプライマー(4 mL)

●付属品:小筆(S)、小筆(SO)、混和皿(EPR)、混和皿(TM)

「セシード® N」に関するお問い合わせ先



製品・各種技術
に関する
お問い合わせ

》クラレノリタケデンタル インフォメーションダイヤル

 **0120-330-922** 月曜～金曜 10:00～17:00 www.kuraraynoritake.jp

本書中のデータは、全てクラレノリタケデンタル株式会社で測定したものです。

製造販売元 **クラレノリタケデンタル株式会社**

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

フリーダイヤル:0120-330922

販売元 **株式会社モリタ**

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL.(06)6380-2525

〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL.(03)3834-6161

資材管理コード



001 1562R120R

管理医療機器 歯冠用硬質レジン

医療機器認証番号:225ABBZX00173000

●「セシード」は、株式会社クラレの登録商標です。

●「アルファライト」は、株式会社モリタ東京製作所の登録商標です。